

教育委員会(事務局)の使命・役割を教えてください！



教育長 都築公人

◇ 教育委員会(事務局)は、学校経営グループと教育センターグループで構成し、主に「教育委員会の事務局」「高浜市総合教育会議の庶務」「小中学校の施設管理に関すること」「通学路の設定等に関すること」「児童生徒の就学に関すること」「教育基本構想に関すること」に取り組んでいます。

◇ 教育のめざすところは、「生きる力」を育むことであり、高浜教育のキーワードは「12年間の学びや育ちをつなげる」ことです。そのため、不登校・いじめ防止への対応、教職員の資質向上、教育環境の整備、避難所として機能する学校のあり方、学校不適応を起こしている児童生徒への支援などに取り組むことが、教育委員会(事務局)の使命・役割であると考えています。

平成28年度上半期の成果・課題を教えてください！



◇ 幼保小中の教職員が授業参観などで交流する異校種参観や、園児児童生徒が授業や行事などで交流する連携事業が進み、その取組の効果が現れてきています。高浜カリキュラムでは、モデルプランの集約も着実に進み、さらに、アクティブラーニングにより主体的・対話的で深い学びを促していきます。吉浜小学校グラウンドについて、夏休みを利用してグラウンド整備を実施しました。今後は、高浜中学校及び港小学校の屋内運動場非構造部材の落下防止対策工事に取り組んでいきます。

平成28年度下半期に向けて、市民の皆さんへ一言メッセージを！



◇ 子どもは未来からの留学生です。地域の宝です。この子たちが、不透明な未来の社会で逞しく生きていくためには、「生きる力」が必要となります。そのために、学校(園)・家庭・地域が協力していくことが大切です。具体的には、学校(園)では学習指導と感動体験、家庭では愛情溢れるしつけと安らぎ、地域では見守りが、主たる務めだと思えます。大切な宝物を今後ともよろしく願います。

■ 編集・発行 ■

高浜市役所 企画部 総合政策グループ

TEL 0566-52-1111 (内線 365) FAX 0566-52-1110

E-mail seisaku@city.takahama.lg.jp

発行年月 平成 28 年 10 月



「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」をめざして

平成28年度
高浜市では、こんなことに力を入れて取り組めます！

教育委員会 (事務局)の 実行宣言！

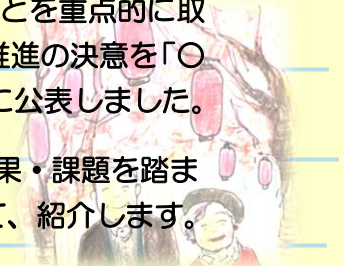


【上半期の振り返り& 下半期のアクション】

◇ 高浜市では、「住んでよかった!」「いつまでも住み続けたい!」と思えるまちを目指し、行政だけでなく、市民の皆さんとともに、みんなで力を合わせてまちづくりに取り組んでいくことを基本姿勢としています。

◇ まちづくりの第一歩は、まちの課題を知ること、情報を共有することから始まります。そこで「今、高浜市ではどんなことが課題になっているのか」「そのために、市役所ではこの1年間で、どんなことを重点的に取り組んでいこうと考えているのか」といった取組項目や推進の決意を「〇〇部長の実行宣言」として部局ごとにとりまとめ、4月に公表しました。

◇ 今回は、上半期(4~9月)の取組状況と、上半期の成果・課題を踏まえた下半期(10~3月)の具体的なアクションについて、紹介します。



アクション 1

子どもたちの発達段階に応じた教育を実践します！

【担当 教育センターグループ】

幼稚園・保育園から小学校に、小学校から中学校に進学する際に、「小1プロブレム」や「中1ギャップ」といった壁にぶつかってしまう子どもたちが増えています。

こうした子どもたちを減らしていくために、継続して、園や学校の垣根を越えて、教職員の情報交換を行うことや、さまざまな異学年の交流の機会を創っていきます。

具体的には…【計画と実行状況】

- ✦ 異校種参観を継続実施し、参観で得られた課題や効果を職員に周知します。
8月までに実施
- ✦ 中1ギャップ意識調査の結果を分析し、対応策を実施します。
8月までに実施
- ✦ 総合的な学習の成果を発信・見える化します。
年間を通じて実施



順調

順調

順調

第6次高浜市総合計画 平成28年度版アクションプラン No.18「異校種間連携推進事業」

上半期を振り返って【成果・課題】

- ✦ 幼保小中の教職員が交流する異校種参観は、参観する教職員の問題意識も向上し、参観シートの活用も進みました。園と中学校間の参観例も見られました。
- ✦ 総合的な学習では地域の方々からの支援を得て、充実した取組が行われています。

下半期の具体的なアクション

- ✦ 参観を受ける園や学校が自園、自校の重点的な取組などを紹介して、参観の視点の明確化を進めます。
平成29年3月までに実施
- ✦ 連携事業実施後の振り返りを確実にを行い、事業のスクラップアンドビルドを図ります。
平成29年3月までに実施

アクション 2

各園・各校の特色や高浜市の資源(ひと・もの・こと)を活かした「高浜カリキュラム」を実施します！

【担当 教育センターグループ】

1年間に地域行事に参画した子どもの割合が低い数値で推移しています。子どもたちが高浜市の良さを実感し、「高浜市民の一員である」という自覚をもって成長していくための支援が必要です。

そのため、高浜市の教育財産、教育資源の共有と活用を図り、一定の指針をもち、全ての幼稚園・保育園、小学校、中学校で取り上げるテーマなどの統一化を継続して推進していきます。

具体的には…【計画と実行状況】

- ✦ 高浜カリキュラムとして紹介できる各園・各校のモデルプランを検討・選定します。
年間を通じて実施
- ✦ 年長の「食育」、小学2年生の「街の宝物・すてきな人」、小学6年生の「防災対策先人から学ぶ防災」、進路を見定め生き方を学ぶ中学校の「キャリア教育」に重点的に取り組みます。
年間を通じて実施



順調

順調

順調

第6次高浜市総合計画 平成28年度版アクションプラン No.19「高浜カリキュラム推進事業」

上半期を振り返って【成果・課題】

- ✦ 園の食育、小学校の生活科と小中学校の総合的な学習の時間を活用した高浜カリキュラムの実践は順調に進んでいます。今年度末の全学年のモデルプランの完成に向けて、各園、各学校からの集約を滞りなく進めます。

下半期の具体的なアクション

- ✦ アクティブラーニングで、主体的・対話的で深い学びをねらい、合わせてコミュニケーション能力の育成も図ります。
平成29年3月までに実施
- ✦ 市内一斉授業研究、各学校の主題研究特設授業、教育論文の元になった授業などの指導案や単元構想を集約します。
平成29年3月までに実施

アクション 3

育てていきたい子どもの姿を策定し、地域ぐるみで子どもの成長を見守り、手助けする教育基盤づくりを進めます！

【担当 教育センターグループ】

教職員、そして保護者や地域住民とともに「高浜市として育てていきたい子どもの姿」を浸透させ、子どもたちに、それぞれの年齢に応じた生活習慣や学習習慣を身につけさせる必要があります。

今年度は、「目指す子ども像」をさらに定着させるため、各園や各校が周知用カレンダーをどのように活用するか、異校種間連携推進委員会で対応策を検討します。

具体的には…【計画と実行状況】

- ✦ 異校種間連携推進委員会でカレンダーを効果的に使う工夫や事例を発表し合い、情報の共有を図ります。
平成29年2月まで実施
- ✦ 平成29年度に向け、目指す子ども像がより分かりやすくなるような工夫を継続して検討します。
年間を通じて実施



順調

順調

順調

第6次高浜市総合計画 平成28年度版アクションプラン No.20「めざす子ども像推進事業」

上半期を振り返って【成果・課題】

- ✦ 高浜市として育てていきたい子どもの姿周知のカレンダーは徐々に定着し、書き込みを加えたり、シールを貼るなどして活用している例も見られました。

下半期の具体的なアクション

- ✦ 各月ごとの育てていきたい子どもの姿に合わせた、各園・各学校の行事や取組を着実に進めます。
平成29年3月までに実施
- ✦ 育てていきたい子どもの姿やその育成に向けた取組がよく現れている写真を集約し、次年度版の作成を進めます。
平成29年3月までに実施

アクション 4

高浜小学校の施設更新に向けた準備を進めます！

【担当 学校経営グループ】

高浜小学校は、昭和34年に建築された校舎が竣工後57年を経過し、建物の老朽化が顕著になっており、建替え・更新の時期を迎えています。

平成28年度は高浜小学校等の建替えに向けて事業者を選定することが当面の課題ですが、これに並行して、学校(校舎)部分についての必要な調整に関して教職員を中心に調整を進めます。

具体的には…【計画と実行状況】

- ✦ 学校施設としての諸室の検討を進めます。
平成29年3月までに実施
- ✦ 学校施設として必要な備品等の検討を進めます。
平成29年3月までに実施
- ✦ 学校施設として必要な設備等の検討を進めます。
平成29年3月までに実施



順調

順調

順調

第6次高浜市総合計画 平成28年度版アクションプラン No.11「高浜小学校整備事業」

上半期を振り返って【成果・課題】

- ✦ 事業者募集に係る資料作成をする中で、学校施設として必要な諸室・備品・設備等の検討を教職員と調整を図りながら進めることができました。
- ✦ 事業者決定以降、提案に基づく設計など具体的な検討において、教職員などを中心とした組織体制を整備し検討を進めています。

下半期の具体的なアクション

- ✦ 教職員などを中心とした組織体制を整備し、事業者提案に基づく、設計等の検討を進めています。
平成29年3月までに実施